

県西教育事務所だより

未来に向かって 高い志を持ち たくましく生きぬく 人づくり
「学校に元気を 先生方に自信と勇気とやる気を 子どもたちに夢と生きる力を」平成30年12月12日発行（特別号）

2学期末における学力の定着を図るための取組

各学校では、自校の課題改善に向けて様々な取組を行い、学習内容の定着を図っていることと思います。児童生徒の学力の実態を把握し、学力の定着を図ることを趣旨とした「学力診断のためのテスト」が1/10(木)～1/11(金)に実施されます。

全職員で以下のような取組を行っている学校は、確実に学力の定着が図られています。自校の進捗状況を確認し、不足している点があれば改善を図りましょう。

1 2学期中、計画的に取り組みたいこと

- 児童生徒の予想されるつまずきを踏まえた課題の設定や発問をするなどの授業を展開する。
- 単元全体を通して目指す児童生徒の姿を明確にし、学習課題や評価、交流場面の設定などを見直す。また、その見直しに基づいた授業を展開する。
- 昨年度までの学力診断テストで課題の見られた問題に再度取り組み、児童生徒自身が「何につまずいているのか」に気付くような個に応じた指導を行うとともに、そのつまずきを自ら解消できるような指導や学習形態の工夫・改善を図る。

2 「学力アップ問題Ⅰ～Ⅷ」の活用 【出題率 約70%】

「学力アップ問題」は、過去の全国学力・学習状況調査の分析結果から、児童生徒のつまずきを踏まえ、出題のねらいや問題の形式（問われ方）等、全国学力・学習状況調査と関連付けて作成したものです。学力診断のためのテストにもつながる内容です。宿題等で取り組むだけではなく、授業中での計画的な活用をお願いします。

〈ダウンロード先〉 教育情報ネットワーク → 文書通知 → 義務教育課
→ 「学力アップ問題Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ・Ⅴ・Ⅵ・Ⅶ・Ⅷ」

1月の学力診断のためのテストに向けた授業改善のポイント

国語

【小学校】課題：物語を読んで、文脈に即して適切な言葉を捉えること

文脈を読むためには、登場人物の会話や行動、場面の展開などに着目することが大切です。また、一つの場面だけではなく、文章全体から、関連する叙述を結び付けて考えられるようにしましょう。

また、登場人物相互の関係に基づいた行動や会話、情景などを通して、暗示的に表現されている場合もあります。このような表現の仕方にも注意し、想像しながら読むことが大切です。

例：「東の空が真っ赤に燃えて、朝が来ました。」⇒残雪に挑もうとする大造じいさんの燃えるような熱い気持ちを表していると思う。（「大造じいさんとがん」より）

【中学校】課題：現代語訳などを参考にしながら古典を読むこと

現代語訳を読んで、「いつ、だれが、何を、どのようにしたのか」等古典の内容を大まかに捉えることができるようにしましょう。

また、主語、会話文、言葉のまとまりや意味などを意識しながら、登場人物や作者の思いを想像することができるようにしましょう。（文語文の内容をことわざと関連させて理解するなど）

社会

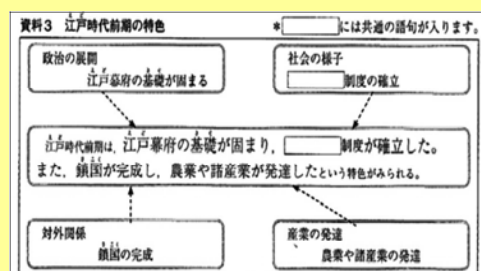
【小学校】課題：習得した知識、概念や技能、各種資料を活用し、社会的事象の特色や相互の関連、意味などを考えること

各種資料から「何が示されているのか」「どんなことが読み取れるのか」等の視点で、日頃より資料等から情報を読み取る力をつけていきましょう。

【中学校】課題：歴史の大きな流れを理解すること

歴史的事象の意味や意義、転換の様子、時代の特色、事象間の関連などを自分の言葉で説明できるよう、次のa～cのポイントを意識して考えられるようにしましょう。

- a 原因・理由・目的（なぜか、何のためか。）
- b 影響（どのような影響を与えたのか。）
- c 共通性・特色（どのような共通性、特色があるのか。）



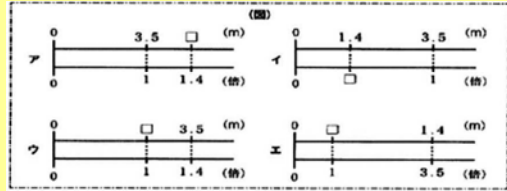
算数・数学

【小学校】課題：基準量・比較量・割合の関係を正しく捉え、立式すること

各学年において、四則演算等の技能はおおむね定着していますが、「数の大小関係を考える問題」や「計算の仕方を考える問題」「単位をそろえて計算する問題」に課題が見られます。この課題を解決するためには、問題文から割合を表す数を見だし、二つの数量の関係を判断することが大切です。

【問題例】(第5学年)

3.5mの赤いリボンがあります。これは、青いリボンの長さの1.4倍です。青いリボンの長さを求めようと思います。正しい図をア～エから1つ選び、求める式を書きなさい。



【中学校】課題：見通しをもって作図したり、作図の方法を見直したりすること

中学1年生の「図形」領域では、直線上の点を通るその直線の垂線の作図方法を、図形の対称性に着目して見直すことに課題が見られます。この課題を解決するためには、見通しをもって作図したり、作図の方法を見直したりすることが大切です。基本的な作図においても、図形の対称性が根拠になっていることを見いだす活動を取り入れることが考えられます。

理科

【小学校】課題：観察・実験の適切な操作及び観察記録の技能の習得に関すること

ソケット無しの豆電球を用いての回路づくり、気温の適切な測り方、水に溶けている物を取り出す実験、水溶液の性質を調べるための実験について、適切な器具の操作に課題が見られます。課題解決に向けて、身に付けた知識や技能を他の学習場面や日常生活など様々な機会に活用することが大切です。

【問題例】(第4学年)豆電球とかん電池とどう線を使って豆電球を光らせます。豆電球に明かりがつく回路になるように、図の豆電球とかん電池を線でむすびなさい。



【中学校】課題：種子植物の分類に関すること

種子植物の体のつくりの特徴を理解し、その特徴に基づいて種子植物を分類することに課題が見られます。課題解決に向けて、実際に観察する機会を増やします。同じ種類の植物であれば、花のつくりや葉脈の形状などは同じなので、それらの分類表や検索表などで植物の仲間分けを考えましょう。

英語

課題：英文の中の語を正しい形で書けるようにすること

語形変化を意識したコミュニケーション活動が大切です！

【問題例】(第2学年)

○ 次の1～5の対話文の()内の語を適切な形にして、1語で書きなさい。

4 A: Look at the boy. Do you know (he)?

B: Yes. He is a very good tennis player. (答え) him (正答率33.6%)

⇒場面や状況に応じた表現を身につけるために、主語や時制等をかえて表現しながら、間違いや失敗を恐れずに、コミュニケーション活動に進んで取り組みましょう。

⇒実際にコミュニケーション活動で聞いたり、話したりしたことを、書いてまとめるなどの学習に取り組んで行きましょう。

課題：与えられたテーマについて英文で表現すること

自分の興味・関心のあることや家庭、学校生活などの身近なことについて、話したり、書いたりする機会を増やすことが大切です。

⇒与えられたテーマについて絵や実物等を見せながら、自分の意見や考えを伝えるスピーチやプレゼンテーションの活動に取り組みましょう。

「全国学力・学習状況調査 英語予備問題」も、併せてご活用ください。

茨城県教育委員会ホームページに掲載されている「考察と対策」の活用を！

茨城県教育委員会ホームページには、昨年度の分析結果が掲載されています。こちらも参照いただき、ご活用ください。

ホーム > 学校教育 > 小・中学校教育 > 確かな学力を育む > 学力診断のためのテスト